

## 平成 28 年度 第 3 回大台ヶ原ガイド制度導入に向けた意見交換会

### 議事概要

- 日 時 平成 28 年 12 月 13 日(火)13:30～16:00
- 場 所 エル・おおさか(大阪府立労働センター) 701 会議室
- 出席者

<ガイド>

飛鳥トレッキングガイドサービス	西浦 勝也 代表
エコツーリズム協会しが	吉見 精二 事務局長
関西山岳ガイド協会	荒木 研一 副会長
日本山岳レスキュー協会	山本 一夫 代表
	上野 雅嗣

<大台ヶ原自然再生推進委員会持続的な利用(ワイズユース)ワーキンググループ委員>

座長	村上 興正
----	-------

<大台ヶ原の利用に関する協議会 ガイド制度検討部会>

特定非営利活動法人森と人のネットワーク・奈良	岩本 泉治 理事
------------------------	----------

<事務局>

近畿地方環境事務所	蒲池 紀之 自然再生企画官
	矢部 敦子 係員
吉野自然保護官事務所	菅野 康祐 自然保護官
	井藤 大樹 自然保護官補佐
株式会社スペースビジョン研究所	安場 浩一郎

### ■ 議 事

- (1) 大台ヶ原登録ガイド制度(案)について
- (2) 意見交換
- (3) その他

### ■ 議事概要

#### 1. ガイドの登録要件について

##### (1) 安全にガイドができる知識と技術の保有

- ・要件として、日本山岳ガイド協会の自然ガイドステージⅠを基準として、これに準ずる資格とするのが適当である。その他に、適格と思われる資格が出てきた場合は、その都度検討して修

正していけばよい。

※協議会構成機関の地方公共団体の長からの推薦を要件にすることについては、特に異論は無かった。

## (2) 救急法基礎講習等の受講

- ・自然ガイドステージⅠ以上の認定を受ける際に、危急時対応に関する講習の受講が義務付けられているので、自然ガイドステージⅠの所持者は、救急法等の受講に関する要件は免除するか、要件を「日赤救急法基礎講習と同等以上の受講経験」等に修正してはどうか。
- ・自然ガイドステージⅠを持っていても、定期的に救急法等を受講している訳ではないので、その点は考慮する必要がある。

## (3) 保険の加入

- ・大台ヶ原ガイド制度では、利用者の傷害保険への加入は必須とした方が望ましい。

## 3. 講習会について

### (1) 講習会の内容

- ・観光振興や地域振興、大台ヶ原をめぐる課題や可能性等に関する内容も、講習会に取り入れることを検討してほしい。

### (2) 実施時期

- ・講習会は、ガイドの繁忙期を避けて実施した方が望ましい。

## 4. ガイドテキストについて

- ・テキストの構成を再検討するとともに、検討委員会をつくることも考慮してほしい。

## 5. ガイド登録のメリットについて

- ・登録ガイドには、利用者の安心感に繋がることや、ホームページでの広報が受けられることなどのメリットがあるが、防鹿柵内への立入や西大台のレクチャーの免除なども検討してほしい。

## 6. ガイドの評価について

- ・アンケートの回収率を上げるために配布・回収方法などについて工夫するとともに、ガイドの内容や利用目的などについても把握できるよう工夫する必要がある。

## 7. その他

- ・登録ガイドの実績報告を義務付けて、実施要綱の条文にも入れる必要があるのではないか。ガイド制度の評価の箇所にも、報告義務について記載してはどうか。